

# カンボジア王国シェムリアップ州教員研修使節団招聘計画

## 1 教員研修招使節団招聘実施団体

特定非営利活動法人オアシス

## 2 招聘対象者（4名）

- シェムリアップ州教育局中等教育部副部長（団長、ビザ申請人）  
サップ・サッカー（Mr. SAP SAKHA） 男性 47歳
- シェムリアップ州教員養成学校校長補佐  
ネアン・ソハープ（Mr. NEANG SOPHEAP） 男性 37歳
- シェムリアップ市バイオン中学校教諭（社会科）  
サン・トラ（Mr. SUN TOLA） 男性 34歳
- カンボジア NGO JST 職員（通訳）  
ネアン・チャンレイ（Mrs. NHEAN CHANREY） 女性 25歳  
※JST：「アンコール遺跡の保存とその周辺地域の持続的発展のための人材支援機構」

## 3 招へいの目的

カンボジア王国シェムリアップ州の学校教育の充実・発展及びアンコールクラウ地域初の新設バイオン中学校（2013年10月）の関学理念の具現化をめざし、愛知県の学校現場で実地研修を行うことでそれらの実現に資する。あわせて、日本とカンボジアの国際親善の実を高める。

## 4 招へいの経緯

【州教育庁との関係から】

2008年より始めた本法人のカンボジア支援事業の活動拠点は、世界遺産アンコール遺跡のあるシェムリアップ市内とその周辺地域である。平成2009年にはチェイ小学校、2010年には同じくチェイ小学校とアンコールクラウ小学校、2011年にはスライン小学校とチュップ小学校の教室棟建設事業を実施し、その過程において州・市教育庁との協議を重ねてきた。さらに2013年のバイオン中学校開校に当たっては、先進的な中等教育実践校の実現を目指す立場から、日本の教育現場を参観したいなどの訪日要請を受けていた。

【新設バイオン中学校及び州教員養成学校の関係から】

2013年10月、JSTの構想のもと、本法人や多くの支援者の協力を得てアンコールクラウ地域に初の中学校が開校した。本法人においては、管理棟建設、運動場整備と体育施設の設置、理科室の建設、さらに太陽光パネル設置による電力活用事業に着手し、当校の技能・技術教育及び情報教育振興の関学理念に沿った条件整備に協力し、支援を継続してきている。また、教員養成学校との交流においては、環境教育に関わり育苗センターや焼却炉の建設と合わせ理科・体育・環境などの授業研修を行い、学生たちの指導力向上を目指した教員養成支援を実施してきている。本年6月には、本法人指導のもと初の運動会を実施し、この成果を州内小学校に普及させる構想のもとで、今後さらに支援活動の継続を図っていく予定である。

【本事業のこれまでの成果】

本年で4回目を迎える本事業であるが、過去3回の研修体験が現地先生たちの指導力向上につながり、シェムリアップ市内の学校教育に波紋を投げかけてきている。特にバイオン中学校で実施した日本方式の運動会は、中学校での生徒会活動を創設するきっかけとなったり、地域と学校をつなぐ学校行事として大きな成果をもたらしたりもした。また、当校は、カンボジアが目指す「キャリア教育を踏まえた自立者育成の中等教育」の実践校として年々実績を積み上げてきており、日本の複数の大学・教育機関からモニター校にも指定されている。

## 5 ビザ申請人との関係

申請人が副部長を勤めるシェムリアップ州教育局とは、本法人がカンボジア支援活動の中心に位置付けている学校建設や教育活動支援に対して当初より助言及び情報を提供してもらっており、常に緊密な関係を保ってきている。とりわけ2013年本法人支援のバイオン中学校の開校を機に、日本へ州教育長（2013年）、次長（2014年）、中学校部長（2015年）を招聘し、そこでの研修成果を州の教育行政や現地の教育活動に生かしてきている。そして今回、これまでの経緯を受けさらなるシェムリアップ州の教育の発展と日本・カンボジアの親善を期して、州教育局中等教育部副部長を団長（ビザ申請人）として招聘するに至った。

## 6 研修計画・日程

- 9月 7日（水） シェムリアップ発（21：35） ⇒
- 9月 8日（木） セントレア着（7：30） 午後：設楽町立名倉小学校参観
- 9月 9日（金） 午前：蒲郡市立南部保育園・蒲郡南部小学校参観（給食）  
午後：蒲郡南部小学校参観 蒲郡市役所（市長・教育長）訪問
- 9月10日（土） 午前：蒲郡市生命の海科学館見学  
午後：名古屋散策
- 9月11日（日） 昼：訪日使節団歓迎会（蒲郡市民会館）
- 9月12日（月） 午前：蒲郡中学校寄贈品贈呈式  
午後：三谷中学校参観
- 9月13日（火） 午前：トヨタ自動車工場見学  
午後：愛知教育大学参観
- 9月14日（水） セントレア発（10：30） ⇒ シェムリアップ着（17：10）  
宿泊場所〔連泊〕 「ビジネスホテル王将」 蒲郡市港町16-22 Tel.0533-65-6927

## その他

4名の渡航費・滞在費は特定非営利活動法人オアシスが負担する。